

「なかなか理解してもらえず『安い印刷屋さん』と思われてしまう」。そう嘆くのは副代表の松田一章さん(33)。Coaクラブはプロのグラフィックデザイナーが、望む人に無償で専門技術や知識を教える。さらに印刷物制作まで運営することで、地域のさまざまな広報活動の支援につなぐ。

学びながら実践と実績を身に付ける「パソコンお絵描き教室」を実施。学生、主婦、会社員など10~70代まで現在45人が受講する=写真。働き盛りの社会人が多く異業種交流、スキルアップ、趣味、求職活動など参加の動機もさまざま。受講者らはプロに学んで習得

## 技術と知識で 地域を支援



したデザイン制作を生かして、多くの市民団体、商店、企業などへ印刷物を実費で提供する。それが学びとボランティア活動の確実な成果となる。依頼者も安価で本格的な高品質の印刷物ができ、同時に人材育成を応援することにもなる。

松田さんは「資格・仕事・特技・趣味など、一人一人が今できることを生かした市民活動は、誰もが無理せずに力を発揮できる相互扶助につながっていくのでは」と話している。 (市民記者・菅原 登志子)